



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41

TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699

URL: <http://www.mokusankyo.com>

E-mail: yamawood@mokusankyo.com

- | | | |
|---|-----------------------|---------------|
| 目 | 1 年頭のあいさつ！ | 5 林業まつり感想等 |
| | 2 合法木材モニタリングの実施(依頼) | 6 会議・研修等のお知らせ |
| | 3 木材利用ポイント申請 200 件迫る！ | 7 11 月期住宅着工数等 |
| 次 | 4 新組合員紹介！ | |



1 年頭挨拶

(1) 理事長 沖田 純 夫

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方には良いお年を迎えられた事とお喜び申し上げます。

日頃より、木産協の運営にご理解とご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、昨年、木産協は大幅に組合員を増加させ、文字通り県内最大の業界団体として、よりダイナミックな活動と飛躍への期待と共に、県民に対する責任の重さを感じております。

また、木材産業を取り巻く環境と我々業界人の意識に大きな変化があった年と思います。例えば、木材利用ポイント制度の周知活動により、多くの消費者の木材利用に対する認識が「森林破壊」から「環境貢献」に変化しつつあり、我々も改めて木材利用の意義や里山再生、生態系の保護を考えることの多い年でした。消費者の理解の向上は我々業界としても大きな追い風であり、この流れを止めることが無いように、安定した供給責任を果たすことが必要であります。

一方、木材の多目的利用が全国的に動きだした年でもありました。低質材の利活用法として合板製造や木質バイオマス発電等は必要不可欠なものです。先人が育てた森林資源が適切に利用、維持される様に、また、木材流通に混乱が生じないように一定のルール(業界関係者が平等の立場で取り組める)が必要であると考えております。

新年においても、木材は豊かな暮らしや環境の保全に大きく貢献する資材である事を機会がある毎に訴え、木材利用の拡大と木材産業の再生を図ってまいりたいと思います。

住宅や公共施設はもとより、商工業施設など街づくり全体に木材利用を創出し、これらに向けた安定した供給体制を作れる様に組合員の皆様と共に最大限の努力をしてまいりたいと思います。

結びに組合員の皆様のさらなる躍進と御多幸を祈念し、年頭の挨拶といたします。



(人馬一体で駆け抜ける)

(2) ○ 副理事長 阿部 昭

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

師走に入った七日、年末退職するベテラン社員の送別会が行われた。私と同時期入社。持病の腰痛が悪化、一年間休業補償を利用しながら治療に専念するも、なかなか回復がならず、来月の還暦を前に退社することになった。会社では、一号機の達人。まさに現場の要として二十九年間全う、支えてくれた。日産スピードは抜群、彼の職人技を極めた安定生産があり今の工場がある。職務継承を重ねて六十五歳までの雇用延長を進めたが残念ながらかなわなかった。同世代、子育てなど何かと時代感が共有、会話も弾んだ。温和な人柄からにじみ出る率直で豊かな物言い、毎日変わらない満面の笑み。肩の力が抜けきらない自分をどれほど助けてくれたことか。毎朝の自分探しができなくなることはさびしい。感謝の言葉以外見つからない。また、併せて歓迎会も行われた。団塊世代に変わり、ここ一～二年で二十代を中心に、三分の一が交代になった。会では顔もよく知らない、返事と元気だけが取り柄の一年生が替わるがわる大先輩と杯を重ねていた。おそらく理解できない教えに率直に頷く姿は遠目ながら微笑ましかった。今回の彼の退職で世代交代の一区切り。決して良い時代とは言えない。失われた二十年をもがき、苦しんだ世代でもあった。それでも見事に子供を育て、家族を守り勤めあげた。長い間大変ご苦労様でした。今後のご健勝を心よりお祈りします。

木材利用ポイント、消費税、震災復興等で昨年十月頃からの資材の高騰が年初めからどんな影響を及ぼすか。今年も早々から読み切れない難しい舵取りの一年になることは間違いない。いつも考えて考えて、いつも悩んで悩んでの毎日が普通。先輩の知恵と若い勢いを力にして未来に繋ぐことを目標に一日一日を積み重ねていきたい。

結びに、皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

○ 副理事長 松田 賢

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

さて2014年4月からの消費税の増税が確定しました。住宅の請負契約を、2013年9月までにしておけば、増税を免れることになっていますので、住宅メーカー、中小工務店に限らず、駆け込み需要を狙って、煽るようにして多くの契約を獲得しています。2013年10月以降に契約した住宅であれば、2014年3月まで完成させて引き渡ししなければなりません。ここで心配されるのが職人不足です。人不足が無理な工期につながり、施工不良の住宅が増えることが懸念されます。山高ければ谷深し。駆け込み需要の後には当然ながら反動が控えていると考えられます。ちなみに前回の消費税の増税(3%→5%)時には、前年より17.7%ダウンしました。ただ、この度は消費税に伴う負担増の軽減策として、政府が導入を決めた「住宅ローン減税の拡充」と「すまい給付金」により、反動による減少が幾分緩和されるのではないかと考えられています。しかしながら住宅メーカーと中小工務店では、温度差があると分析しているケースが多いように感じています。木材の生産・流通においては、資材や燃料の高騰等の経費が上昇し、その分を販売価格に転嫁できず、大変厳しい状況が続いています。適正利益の確保が急務です。そのためにも、主力の販売先である中小工務店と共に成長することが重要と考えています。とりわけ、木材利用ポイント事業や県産木材の取扱いに積極的に取り組むことが可能となるよう支援体制の強化が望まれます。

様々な課題はあるものの、業界にとっては追い風です。一丸となり邁進しましょう。

(3) ○受賞者 会田悦陸

この度、第48回全国木材産業振興大会において、「全木連会長賞」をいただきました。誠に有難うございます。山形県木材産業協同組合の一員として大変光栄に存じます。

このような表彰の機会を与えていただきましたことは、ひとえに沖田理事長様をはじめ組合員の皆様のご支援の賜物と改めて感謝申し上げる次第です。

また、山形県木材産業協同組合の歴史を創られてこられた、諸先輩の皆様方のご指導の賜物と思いを新たにしております。この度の受賞を機に、これまで以上に仕事に打ち込み、微力ながら組合の発展に尽くしたいと考えております。

今後とも、皆様方の尚一層のご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。



(起立する会田氏、後列左より三人目)

○受賞者 下山邦彦

この度、「全木協連会長賞」をいただき、誠に有難うございました。これもひとえに山形県木材産業協同組合理事長様をはじめ、組合員の皆様のおかげと感謝申し上げます。

全国大会開催地の埼玉県さいたまし市に何百名の同志が集い、その中で名前を呼び上げられた時は、身が引き締まる思いと、感動せずにはいませんでした。

地区の前任からバトンを受けて15年ぐらいたちます（本年度木産協総会で質問する下山氏）が、その間ずいぶん木材業界を取り巻く環境が変わりました。高齢化の進行に伴う後継者不足、大型量産工場と家内制小型工場への極端分散化、外材の高騰や集成材の普及、乾燥材の寸法精度への消費者ニーズの高まり等、課題はたくさんあります。

また、森林再生や震災などを契機に、公共建築物の木造化やバイオマス発電等の再生可能エネルギーの普及、合板材や建築用材への国産材利用の拡大等は、木材業界にとっては追い風ではないでしょうか。

ようするに、頭の中を柔らかくして、いろいろな情報や選択力を身につければ、この木材産業はまだまだ成長する分野だと思います。今後の山形独自の木材産業の発展を期待します。



2 合法木材モニタリング書面調査の実施について(依頼)

合法木材制度については、昨年度から施行された「木質バイオマス発電の買い取り制度」や本年度からの「木材利用ポイント制度」の証明手段として活用できるようになりました。

この制度は、木材業界の自主的な制度であり、関係者の不断の取り組みが不可欠です。しかしながら、所定の方法による、分別管理や帳簿記載等について課題がある事業体もあるといわれており、今回、全木連の指導の下に、認定事業者全員を対象に書面調査を実施することになりました。

については、別添の調査書類にご記入の上、1月15日までFAX下さるようお願いいたします。

また、現地調査については、今回、1割程度の方を対象とし、該当事業体について個別にご連絡いたします。なお、平成26年度からは毎年調査することになります。

3 木材利用ポイント申請 200 件迫る！

(1) 申請の状況

12月27日現在の県内の申請件数は、県内受付分+全国事務局受付分の合計で、200件に迫っており、12月に入り一段と加速している。施工業界では長井市のN社、山形市のH社等の数社が10件以上の代理申請を行う等、一部の施工業者が積極的に取り組んでいるが目立っている。約600社が登録しているわけで、これからの他社の奮闘を期待している。



(12月7～8日のリフォーム展でPR)

また、構造材のみの申請(30万p)が多く、内外装でも利用が可能(上限30万p)にもかかわらず利用していないケースが多い。

(2) 来年度も継続の動き(150億円補正で追加、閣議決定)

申請の出足が思わしくなく事業継続については不透明感があったが、本事業については、12月12日に国の補正予算案が決定され、150億円が盛り込まれることになった。現時点(12月17日現在)の情報として、申請要件の工事着手期間の半年延長(9月末まで)、供給・施工業者の追加登録等、条件は次第に良くなっていると思われる。詳細は判明次第報告したい。

(3) 12月～1月期のPRの取り組み

ア リフォーム展でのPR

12月7～8日に、山形ビッグウィングを会場に、協賛会員となっている、「ナイス株式会社」が主催するリフォーム展が開催され、ポイント事務局は木産協組合員の展示スペースをお借りして、来場者に木材利用ポイントのパンフレット配布や相談会を実施した。

イ 平清水住宅展示場でのPR

12月7～8日に標記展示場で開催された「カウントダウン住宅祭」において、来場者に木材利用ポイントのパンフレット配布や相談会を行った。

1月4～5日、11日～13日に、同箇所で行われる「ドリームカムズトゥルーフェア」でも、パンフレット配布や相談会を実施することになっている。

(4) 今後の課題

次の事項について取り組みを強化し、本県内のポイント獲得や地域商品の交換を促進させる等による地域活性化を支援する。

ア 予算の増額や対象期間の延長が行われる情勢になったことから、未登録者に周知して登録の準備を働きかける。(施工業者、木材供給業者)

イ 申請の内容は棟別申請が圧倒的だが、内外装の申請も併せて可能であり、ポイント確保の増大を目指して、もれなくカウントできるように指導する。

ウ 平成26年9月まで着工したものが対象となることから、これから着工する物件に対しては、ポイントの獲得に向け、施主、施工業者、木材供給業者の間でこれまで以上に十分に協議する。

エ リフォームのみも対象となることから、きめ細やかな対応をするよう指導する。

オ 交換商品業者について本県の場合は3社であり、一定額の交換が始まっていると聞いている。これらについても追加登録について準備を進める必要がある。

カ 申請書の誤記に傾向があることから、注意点について施工業界に情報を提供する等。

4 新組合員の紹介

武藤林業 代表取締役 武藤広幸

この度、武藤林業を紹介させていただきます。

弊社は平成 13 年に伐採作業を始め、現在、息子 2 名と計 3 名で力を合わせて仕事に取り組んでおります。

この十二年の間に、林業機械の装備も増え、現在は、グラブソー3 台、フォワーダ 2 台、T-30 が 1 台がフル稼働しております。業務は予想していた以上にハードであり、また、社会経済情勢も厳しく、林業の大変さを痛感しています。

一方で、最近、薪ストーブも復活しつつあり、やはり石油ストーブとは異なったメリットがあり、薪ストーブの暖かさに癒しを求める人も増えてきているようです。

今後は、その薪ストーブに携われるような事業も増やしていき、これからの林業を発展させたいと考えております。

明るい未来を信じて、組合員の皆様と共に力を合わせ、日々精進していく所存でありますので、今後ともよろしくお願いいたします。

須藤林業 代表 須藤昌紀

この度、山形県木材協同組合に加入させていただきました、米沢市の須藤林業と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私どもは広葉樹の伐採を主業としており、併せて造林関係の作業も行っております。最近、スギ、マツ等の針葉樹にかかわることが多くなり、針葉樹に関しての知識不足が多々あると感じております。

今回の木産協への加入を契機に、様々な研修会に積極的に参加し、多くの知識を吸収し業務に活かしていきたいと思っております。

木産協の組合員の皆様には、今後とも、よろしくご指導下さるようお願い致します。

株式会社 睦興業 代表取締役 佐藤繁昭

この度、本組合に加入させていただきました株式会社睦興業の佐藤繁昭と申します。

弊社は置賜地区の工務店様、大工様を中心に、木材、建材、住器、銅製建具等建築資材、土木資材等を販売営業している会社です。

近年めまぐるしく変わる環境の中で、お客様のニーズに合った、また、環境にあった情報、そして知識をお伝えし共に学び共に成長していきたいと考えております。

まだまだ未熟者でございます。

関係各位の皆様より、ご指導、ご助言等をいただきながら学んでいきたいと考えております。どうぞ、従業員共々宜しくお願いします。

※ 届けられた順番に掲載してあります。

※ 本年度新規加入の組合員の皆様へ。木産協は組合員の連帯の基に成り立っている組織ですので、自社の紹介程度は是非行っていただきたいと思います。

5 林業まつり出展者の感想

初めての出展者等から感想をいただいておりますので、ご紹介いたします。

「コーヒーの木」の話ができるようにしていきたい!!

この度は大変お世話になりました。林業まつりの感想をお送りします。

初めて出展させてさせて頂きまして感じたことは、実行委員の皆さんが親切で、「お客様から楽しんで帰ってもらおう」という気持ちが伝わってくるイベントだと感じました。

それから、毎年行ってみたいと思わせるイベントでもあると思いました。

林業まつりに行けば、「あのきのこが買える!」とか「あそこの高校の野菜がおいしいんだよね」という、お客様に話しかけて聞いたわけではなく、お客様の行動でそれが伝わってきました。

弊社は、屋外で出展するのと、コーヒーの 1 杯売りを入れて出展したのが初めてでした。

1 日目はコーヒーを淹れるのが間に合わず、列ができるくらい大好評でした。

来年も出展させて頂けるのでしたら、会場の雰囲気も今回わかりましたので、「コーヒーの木」の話が出来るようなものにしたいと思います。ありがとうございました。

山洋商事(有) 上野敦子



「機会があればまた呼んでください」!!

この度は、林業まつりのステージに呼んでいただき、ありがとうございました。このような大きな規模のイベントに呼んでいただけましたことを、メンバー全員大変嬉しく思っております。

ステージ当日は生憎の雨でしたが、舞台に TENT を張っていただいたおかげで、スムーズに演奏を進めることができました。音響も丁寧にセッティングしていただいたお蔭で、雨音の中でも歌いやすく、PA 担当の方にも感謝しております。

一点気になりましたのは、客席です。天候が良ければ何も問題はないのですが、今回のような天気ですと、出来ることならば、見ていただいているお客様のところにも TENT があつたら良かったと思います。せっかく見ていただいているお客様が、雨の中、傘を片手にとというのは、少々心苦しいところがありました。

例えば、食べ物を出店されているお店の近くにあった休憩所のようなところがステージの近くにあれば、ご飯を食べながらステージを見たり、雨の中でもイベントを楽しめたりするのではないかと思います。

ステージの後には、出店されている各ブースを見させていただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。様々なブースがあり、大変興味深かったです。機会がございましたら、また呼んでいただければ幸いです。この度は、本当にありがとうございました。鈴木 瞳
pomme soeur (ポンスール・女声ゴスペルグループ・二日目のステージイベントに出演)



6 会議、研修等のお知らせ

1 木材産業研修会のご案内(全木連主催)

この度、激動する木材を巡る状況に適切に対応するため、業界の経営・技術レベルアップを目指し、標記研修会を下記により開催しますので、是非、ご出席下さるようご案内いたします。(水平連携地域活動指導事業講演会)

特に今回は、木材乾燥の権威の久田氏と全国一のスギ生産量を誇る宮崎県の県立木材利用技術センター長の飯村氏にご来県いただきます。

記

- (1) 期 日 平成 26 年 1 月 17 日 13 時 30 分～16 時 30 分頃
- (2) 会 場 ホテルメトロポリタン山形会議室(山形市香澄町 1-1-1)
- (3) 内 容
 - ア 演 題 「乾燥・規格など製材品の品質確保に向けた課題」
 - 講 師 全木連主任研究員(農学博士) 久田卓興 氏
 - イ 演 題 「木材・木造を取り巻く新たな動き」
 - 講 師 宮崎県木材利用技術センター所長(農学博士) 飯村 豊 氏
- (4) 申し込み方法 準備の都合上、1 月 10 日まで県木産協まで連絡ください。(023-666-4800)

2 第 4 回山形県木材利用ポイント事業推進協議会

- (1) 期 日 平成 26 年 1 月 21 日(火)午後 1 時半～
- (2) 会 場 ホテルキャッスル会議室(山形市十日町)
- (3) 協議事項等
 - ア 申請の状況報告(各申請窓口での状況と課題報告)
 - イ 追加予算に対する対応
 - ウ 申請最多事業体の取り組み等
- (4) その他 委員等へのご案内は別途差し上げます。

3 第 6 回地域森林経営コーディネーター育成研修会(最終回・再掲)

森林資源の充実に伴う地域材のコーディネート等について、将来地域の中心となるメンバーの育成研修会。最終回は、地域の森林資源をコーディネートするにあたり心すべきことや全国的なコーディネート事例等の講演の他、全体研修・個別研修による成果報告会を行う。

発表や講演会についてはどなたでも聞くことができます。なお、コーディネーター及び講師に、「山村資源を活用した地域活性化」の権威の渋澤寿一先生をお呼びしております。

- (1) 期 日 平成 26 年 2 月 18 日(火)13 時 30 分～17 時頃
- (2) 会 場 ホテルキャッスル会議室(山形市十日町)
- (3) 講 師 渋澤寿一氏(NPO 法人樹木・環境ネットワーク協会理事長)
- (4) 内 容
 - ア 成果報告会(研修生各自報告)(コーディネーター渋澤寿一氏)
 - イ 講演会 演題(仮題)「木材の流通を中心とした山村と都市との連携」
- (5) 申込み 山形県木材産業協同組合にご連絡ください。(Tel 023-666-4800)

7 11月期住宅着工状況

平成25年11月期の県内新設住宅着工戸数は、対前年同月比133%の602戸となりました。利用関係別では持ち家344戸で127%、貸家223戸で146%、分譲住宅35戸の130%となっており好調を持続しています。

1 県内新設住宅着工戸数(25年11月)

(単位:戸)

年 月	総 数	利用関係別				資金別		木 造 住 宅		木 造 内 訳		
		持 家	貸 家	給与住宅	分譲住宅	民 間	その他	戸 数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
21年	4,616	2,894	1,251	106	365	4,340	276	3,737	81.0%	2,901	157	679
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
24. 6月	470	369	68	2	31	455	15	423	90.0%	348	13	62
7月	560	332	188	25	15	495	65	400	71.4%	303	11	86
8月	451	338	88	0	25	437	14	408	90.5%	333	17	58
9月	458	316	122	1	19	424	34	395	86.2%	285	18	92
10月	423	253	140	0	30	387	36	346	81.8%	279	7	60
11月	453	272	153	1	27	442	11	373	82.3%	261	13	99
12月	406	235	138	1	32	393	13	344	84.7%	216	21	107
25.1月	276	127	89	31	29	238	38	180	65.2%	132	6	42
2月	265	153	92	0	20	246	19	211	79.6%	142	7	62
3月	335	268	32	2	33	326	9	309	92.2%	241	11	57
4月	559	376	151	0	32	494	65	453	81.0%	349	13	91
5月	532	372	128	2	30	513	19	439	82.5%	357	17	65
6月	556	353	171	4	28	540	16	456	82.0%	356	15	85
7月	606	408	146	3	49	593	13	501	82.7%	389	11	101
8月	449	336	60	4	49	439	10	416	92.7%	332	10	74
9月	598	408	152	0	38	568	30	537	89.8%	418	19	100
10月	584	384	158	2	40	577	7	507	86.8%	388	16	103
11月	602	344	223	0	35	596	6	488	81.1%	356	17	115
対 前 月 比	103.1%	89.6%	141.1%	0.0%	87.5%	103.3%	85.7%	96.3%	-	91.8%	106.3%	111.7%
対前年同月比	132.9%	126.5%	145.8%	0.0%	129.6%	134.8%	54.5%	130.8%	-	136.4%	130.8%	116.2%
24. 1～当月計	4,310	2,851	1,135	60	264	4,075	235	3,573	82.9%	2,724	135	714
25.1～当月計	5,362	3,529	1,402	48	383	5,130	232	4,497	83.9%	3,460	142	895
対累計前年比	124.4%	123.8%	123.5%	80.0%	145.1%	125.9%	98.7%	125.9%	-	127.0%	105.2%	125.4%

2 地域別新設住宅着工戸数(25年11月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累 計	前年比	累計比	木造累計	市町村	着工数	累 計	前年比	累計比	木造累計
県 計	602	5,362	132.9%	124.4%	4,497	大 蔵 村	0	5	-	166.7%	5
山 形 市	151	1517	104.9%	106.6%	1131	鮭 川 村	0	6	0.0%	100.0%	5
上 山 市	10	101	142.9%	116.1%	89	戸 沢 村	0	6	-	200.0%	5
天 童 市	51	459	102.0%	141.7%	389	最上地域	16	183	106.7%	135.6%	169
山 辺 町	7	66	175.0%	134.7%	63	米 沢 市	96	540	355.6%	176.5%	359
中 山 町	13	48	433.3%	171.4%	46	南 陽 市	15	145	300.0%	94.8%	141
東南村山	232	2,191	111.5%	114.7%	1,718	高 畠 町	6	91	120.0%	142.2%	91
寒河江市	27	249	122.7%	152.8%	232	川 西 町	1	30	50.0%	100.0%	29
河 北 町	7	98	350.0%	178.2%	88	東南置賜	118	806	302.6%	145.8%	620
西 川 町	0	4	-	100.0%	4	長 井 市	9	162	300.0%	151.4%	162
朝 日 町	1	9	100.0%	81.8%	9	小 国 町	0	12	0.0%	171.4%	10
大 江 町	4	26	400.0%	96.3%	23	白 鷹 町	7	51	700.0%	127.5%	49
西村山郡	39	386	150.0%	148.5%	356	飯 豊 町	0	25	0.0%	166.7%	25
村 山 市	5	77	71.4%	97.5%	74	西 置 賜	16	250	200.0%	147.9%	246
東 根 市	45	354	65.2%	108.3%	328	置賜地域	134	1056	285.1%	146.3%	866
尾花沢市	1	38	33.3%	71.7%	37	鶴 岡 市	43	455	172.0%	145.8%	409
大石田町	0	11	-	64.7%	11	三 川 町	8	49	800.0%	204.2%	41
北 村 山	51	480	64.6%	100.8%	450	庄 内 町	19	77	380.0%	126.2%	72
村山地域	322	3,057	102.9%	115.5%	2,524	田 川	70	581	225.8%	146.3%	522
新 庄 市	14	112	140.0%	114.3%	101	酒 田 市	54	442	117.4%	112.2%	374
金 山 町	0	11	0%	137.5%	11	遊 佐 町	6	43	600.0%	286.7%	42
最 上 町	1	23	50%	287.5%	23	飽 海	60	485	127.7%	118.6%	416
舟 形 町	1	12	-	400.0%	12	庄内地域	130	1,066	166.7%	132.3%	938
真室川町	0	8	0.0%	133.3%	7						

注:累計は平成25年1月～